



地域の産業競争力強化を担う技術支援機関として

所 長 にしもと 西元 けんりょう 研了

このたび4月1日付けで工業技術センター所長を拝命いたしました 西元研了です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

我が国の経済は、企業部門の好業績が続き、雇用や所得環境が改善し、個人消費など家計部門にも回復の動きが波及してきており、景気は緩やかに回復しています。また、先行きについても、緩やかな回復が続くことが期待されています。この経済の成長軌道を確認なものとし、持続的な経済成長を成し遂げるため、政府は、「未来投資戦略2017」及び「新しい経済政策パッケージ」を策定し、生産性革命と人づくり革命を実現し、一億総活躍社会を創り上げ、少子高齢化の課題を克服することを目指しています。

このような中で本県では、おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向を明らかにする「かごしま未来創造ビジョン」を策定しました。ビジョンの12の柱の一つ「革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興」において、「イノベーションの創出と競争力のある産業の振興」として施策展開の基本方向を定めています。その中には、中小企業等の生産性向上や競争力強化等を図るため、IoT、AIなどを活用した革新的技術を活用した取組も新たに示されています。

本県の産業振興については、「かごしま製造業振興方針」に基づき、「たゆみないイノベーションと製品の開発・事業化による付加価値の創出・向上」などを柱とする各種の施策に取り組んでおり、当センターでは、①企業ニーズに基づく技術支援、②技術シーズの橋渡しによる県内産業の振興、③多様な連携によるものづくり支援、の3つを業務の柱とする企業活動支援を基本方針とした中期業務計画に基づき、工業技術に関する支援機関としての業務を推進しております。

技術相談や依頼試験・設備使用、人材育成、情報提供などの技術支援は、地域企業の技術課題解決に必要な業務の充実を図り、迅速かつ丁寧な対応を心掛け、利用者の皆様の満足度を高め、利用拡大に努めて参ります。

研究開発は、その方向性を地域資源付加価値創出と、ものづくり基盤技術高度化に定め実施しております。その中には、基盤的研究から発展し、企業とともに事業化を目指す大型の研究開発補助事業に採択されたものや、技術・製品の戦略的な標準化による事業化支援の段階に進展しているものもあります。今後も、技術シーズ創出のための研究開発や、ニーズに基づく技術開発や製品開発を実施して参ります。また、研究成果の中から、昨年度は4件の特許出願を行いました。今後も、研究成果の実用化、産業化を目的として、知財の権利化を図り、知財の活用をすすめて参ります。

企業等との共同研究・受託研究も、昨年度、提案公募型受託研究5件を含む30件の共同研究・受託研究を実施しました。今年度も積極的に共同研究等をすすめて参ります。

当センターは、昨年創立30周年を迎えることができました。これまでの地域企業のニーズに対応した、きめ細かい技術支援に加え、今後、地方におけるSociety5.0に向けた生産性革命の取組を推進するため、大学等や産業支援機関、国研や公設試等との連携体制を強化して参ります。各種業界団体等とも緊密に連携し、地域のイノベーション創出と産業競争力の強化を担う技術支援機関として、地域経済の成長、発展に貢献して参りたいと思います。

地域企業のための技術支援機関として、皆様のお役に立てるよう、職員一同、尽力して参りますので、これまで同様、当センターの積極的な御利用をお願いいたします。